③風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者・同居者（ただし、『過去に風しん抗体検査を受けたことがある、過去に風しんの予防接種を受けたことがある』、『検査により風しんと判断されたことがある』人は除く）

●検査場所／町立厚岸病院ほか協力医療機関

●助成内容／検査方法により上限額が異なります

●実施期間／平成31年3月15日㈮まで

エキノコックス症の検査を受けましょう

問い合わせ　健康づくり係　53-3333

エキノコックス症は、北海道に多く見られる感染症です。エキノコックスという寄生虫が主に肝臓に寄生して起こる病気です。正しい知識を身に付け感染を予防するとともに、定期的に検診を受けることが大切です。

●人への感染経路／エキノコックスの卵が人の口に入った場合に感染することがあります。エキノコックスが寄生したキツネや犬、またはそのふんに直接触れたり、ふんに汚染された山菜や沢水を口にすると感染の危険があります。人から人へ感染することはありません。

●感染予防方法／感染予防のために次のことに気を付けましょう。

①外から帰ったら必ず手を洗う

②キツネに餌付けをしたり、触ったりしない

③キツネが近寄らないよう、生ゴミ等は適正に処理する

④飼い犬が野ネズミを食べないよう、放し飼いにしたり野原や公園で放さない。また、散歩中に拾い食いをさせない

⑤山菜や野の果実等は十分に加熱もしくはよく水洗いしてから食べる

⑥沢水等の生水は飲まないこと。飲む場合は煮沸する

●エキノコックス症検診／早期発見のために無料で検診を行っています。対象者は18歳以上の町民で、5年に1回受診することができ、町が実施する集団検診や個別検診の機会に受診できます。また、小学3年生、中学2年生を対象に夏季・冬季休暇中に検診を行っています。（学童検査については、対象者に個別で案内します）

ごみの分別・排出ルールを守りましょう

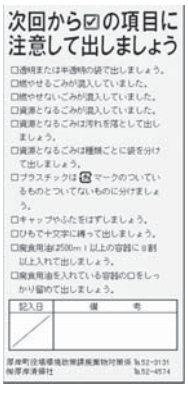
ごみの分別・排出ルールが明らかに守られていない場合には、そのごみに赤い紙の注意票（レッドカード）を貼って収集をしていません。ある程度守られているが、もっと分別の徹底が必要な場合には、収集はしますが、黄色い紙の注意票（イエローカード）をごみ箱に入れています。

注意票には、守ってほしい項目にチェックがついていますので、次回の収集日にルールを守ってごみを出してください。

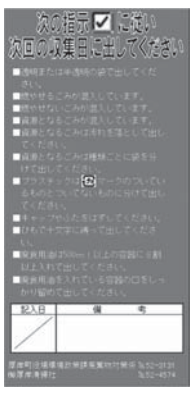
ごみのリサイクルの向上を図り、最終処分場の延命化のため、ご理解とご協力をお願いします。

3月はレッドカードを2枚使用しました。分別表をよく見て、正しい分別でごみを出しましょう。

●問い合わせ／廃棄物対策係



イエローカード



レッドカード

このような場合に注意票を貼ります

▶中身が見えない袋や箱で出している

▶別のごみが混入している
（例　燃やせるごみの中に資源となるごみが混入している）

▶資源となるごみの汚れが落ちていない

▶資源となるごみが種類ごとに分けられていない

▶ペットボトルのキャップやびんのふたが外れていない

▶廃食用油が500ミリリットル以上の容器（食用油の入っていた容器か中身の見えるペットボトル）に8割以上入っていない

▶ダンボールや新聞などをたたんで十文字にひもで縛っていない